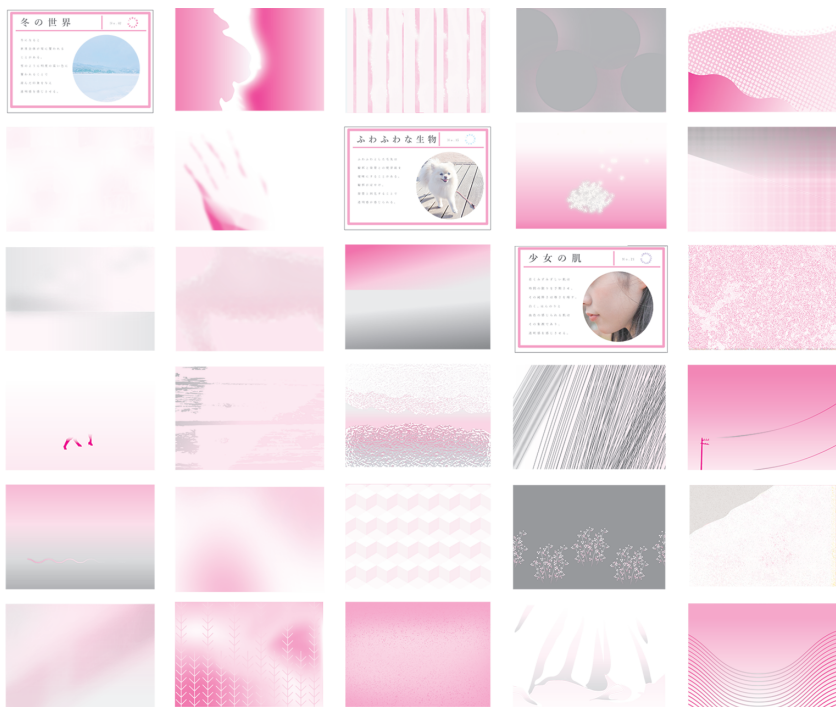


「透明感」のデザイン表現

柏木碧

デザイン情報コース

透明でないものに「透明感」があるということがあります。例えば女性の肌、夢げな花、美しい風景…私達は何に「透明感」を感じているのでしょうか。そんな疑問から「透明感」を表現する方法についてデザインの観点から研究しました。「透明感」を感じた風景を切り取り「透明感」の要素を抽出、デザインで活用できる形に落とし込むことを目指しています。透明である水やガラスのイメージとは距離を置きたかったので特定の色でグラフィックスを制作することにしました。グラフィックスは5つのグループに分類し、裏面には「透明感」の要素についての考察を記載しています。透明でない「透明感」を感じていただければ幸いです。



グラフィックデザイン/h148×w210 (両面)

おわら風の盆ビジュアルデザイン

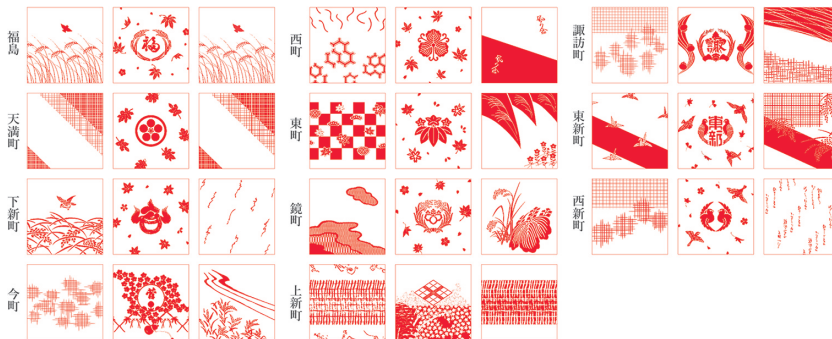
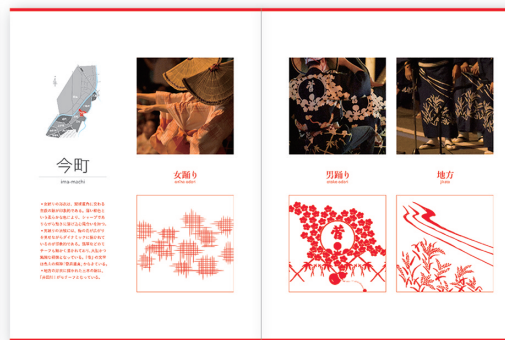
松崎真凜

デザイン情報コース

富山県八尾町の祭「おわら風の盆」は、旧町と呼ばれる「東新町、西新町、諏訪町、上新町、鏡町、東町、西町、今町、下新町、天満町」と「福島」の11の町が支部となり、行われる。

各町が「女踊り」「男踊り」「地方」それぞれ揃いの衣装を持ち、その模様は町ごとに異なる。どの町も個性豊かで魅力的な衣装を持つが、全ての町の衣装を一度に見ることは簡単ではない。

11町の衣装の魅力をより分かりやすく人々に伝えるべく、ビジュアルデザインの観点から衣装の個性あふれる模様を抽出し、33種のグラフィックを制作、これらのグラフィックを通して今までにない角度からおわら風の盆の魅力を表現した。



グラフィックデザイン

タブロイド誌を用いた絵本の研究

松野奈々

デザイン情報コース

子どもの頃、誰もが手にする絵本。それは、子どもたちにとって”楽しい”が詰まった読み物であり、彼らにまだ見ぬ世界を感じさせ多くの刺激を与えます。私は、その世界を生み出すイラストやストーリー、絵本の中に創り出されたもの全てが彼らの想像力を育むことになると考えました。このような絵本を読む楽しさに加え、自ら手を動かすことができる”つくれる絵本”を制作しました。

内容は、ミノムシの成長を中心に工作を楽しむものになっています。付属の紙をちぎって貼ってミノムシのみを作ったり、ミノムシの羽の模様をクレヨンで描いたりして楽しめます。たくさん子どもたちに提供できるようにタブロイド版にまとめました。



絵本／タブロイド

紙と花

山下斐子

デザイン情報コース

花は鮮やかに咲き、時間が経つごとに色褪せてドライフラワーになります。乾燥して水から離れた花を「紙で包むように飾る」というコンセプトで、ドライフラワーのためのフラワーベースを提案しました。

平面的に飾れるポスタータイプはグラフィックとカット加工を組み合わせ、花を絵のように飾れる工夫を施しました。また立体的に自立するタイプは、折加工に曲線のカット加工をして紙の柔らかさを表現しました。

花は生きている。

紙と寄り添い、生活を彩る。

今日も誰かのために咲き続ける。



グラフィックデザイン・ペーパーワーク／紙／B4版(他7点)

ゆうぞら駅市のブランディング

島田瑞季

デザイン情報コース

5～10月のプレミアムフライデーに富山駅南口駅前広場に開催される「ゆうぞら駅市」。駅とまちをつなぐマルシェとして2016年、富山市によって企画され、2018年より富山駅周辺賑わいづくり実行委員会が主催となり運営しています。広場にはテントが立ち並び、旬な野菜や果物はもちろん、作り手の思いがこもった加工品など、富山の品々が並びます。

2018年のメインビジュアルを担当した他、エプロン、ブランディングタグなど、スタッフのモチベーションをあげて今後の開催につなげるためのアイテムを制作。さらに2018年の開催を振り返り、次年度のゆうぞら駅市を見据えたブランディングの提案を行いました。

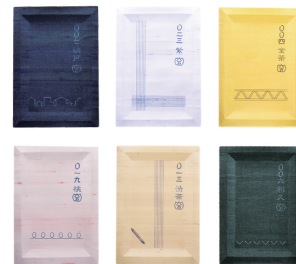
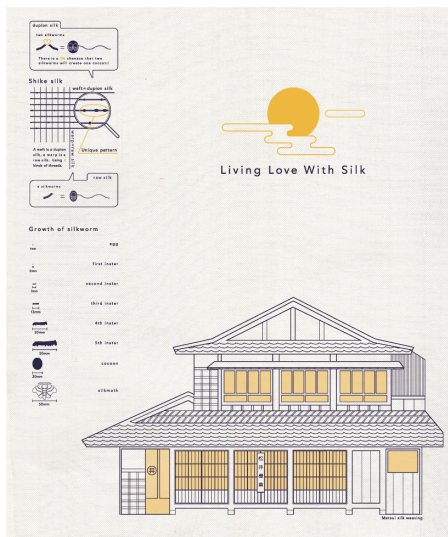


ブランディングデザイン

松井機業見本帳

寺西茉莉 デザイン情報コース

二頭の蚕が力を合わせ、一つの繭をつくり生まれる玉糸。独特な節を持ち、玉糸を緯糸に織り上げたしけ絹には、世界にまたとない模様が浮かび上がります。松井機業は明治十年よりしけ絹を織り続けています。本制作においては、絹織物をつくり続ける松井機業の見本帳をテーマとしました。職人の手仕事が必要で成り立たない絹織物の世界。化学繊維には決して表れない輝きがそこにはあります。松井機業は、現代での絹の使われ方に目を向け、様々な分野の方から注目されています。見本帳を通して、松井機業の絹への思い、城端や蚕への愛が伝わり、松井機業が目指す養蚕復活へ繋がることを願っております。



ブランディングデザイン / しけ絹・しけ絹紙

Oda, Tomoe *Design for the handicrafts of Shonai region, Yamagata Prefecture.*

山形県庄内地方に伝わる 民芸を活かしたデザインの提案

絹糸・ドライハーブ・木材・紙・木綿糸・パラフィンワックス
h80×w45×d45mm
h165×w70mm
h50×w50×d50mm

小田 友萌
デザイン情報コース

私の生まれ育った山形県庄内地方には、昔から伝わる民芸が今も残っています。庄内地方独特の文化の中で育まれた民芸品はどれも個性的でもっと多くの人に知ってもらいたいと思い、数ある民芸の中から3つの新しいデザインを考えました。

「御殿まり」

まりの土台に使うもみ殻をドライハーブに置き換え、好みのアロマ オイルとハーブの香りをブレンドできるアロマディフューザーとしました。

「庄内刺し子」

庄内刺し子を簡単に体験でき、誰かに思いを込めて刺し子で綴じる、ひと手間かけて作る封筒キットとしました。

「庄内絵ろうそく」

表面に絵付けを行なった燭台のいらない水に浮かぶキャンドルとしました。金魚鉢をモチーフとしており、徐々に溶けていくと蠟の中から金魚がでてきます。



ものづくり女子のための 伝統工芸体験キット

錫・PLA樹脂・シリコン・鋳造
h50×w60×d60mm

湯浅 亜依
デザイン情報コース

高岡の伝統工芸である鋳物をもっと多くの人に知ってほしいという思いから、ものづくり好きな女性のために、家で手軽に鋳物体験ができるキットを開発しました。砂で型を取っていく本来のやり方では体力も多くの時間も必要になるため、あらかじめ型取りをしてあるシリコン型を使用することにしました。これによって、はじめての方でも簡単に、短時間で鋳物をつくることができます。鋳物を流し込むだけではなく、その後の工程で自分好みの質感に磨くことで、オリジナリティのある作品にすることができます。このキットでは動物をモチーフとした小さな花器が作れます。干支をベースとした動物12種によって構成されていますが、それぞれの磨き方や草花の飾り方で、様々な印象を楽しめます。

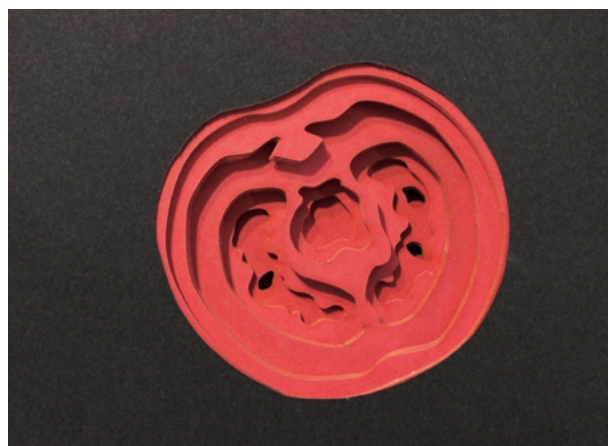
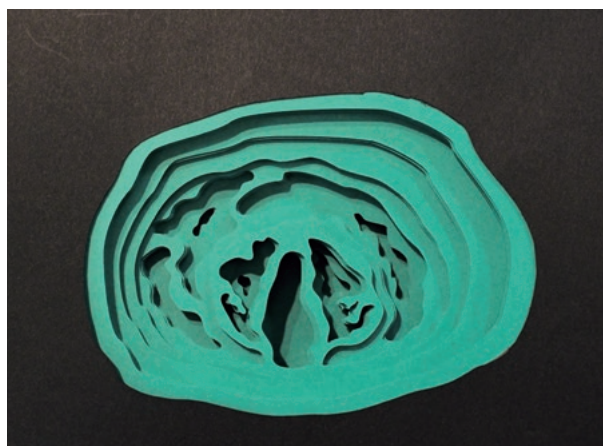


素材の形のあたらしい表現の研究

紙
h30×w135×d100mm
h30×w85×d75mm

中町 梓沙
デザイン情報コース

素材のもっている形は特徴的であり、切り口に興味を持った。切り方を変えていくと様々な表情をみせるそれらは、等高線にみえてくる。このことを活かして素材の切り口を平面的でなく立体的に表現する作品の制作を試みた。等高線の情報にそって段差を作ることで、平面的にみえるものを立体的にみせ、素材の本来もっている形と、切り口の模様とそれぞれのおもしろさをみせる。制作する際、切り口の特徴をとらえ、等高線としての表現をしていくと、形の重なっているところ、同じ模様はないところなど、素材のあたらしい形に気づけた。立体的な線を表現するために面を重ねた段で影を作り、等高線としてみせている。



岡山県真庭市落合地域に
受け継がれる、
銘菓『落合羊羹』についての
考察と提案

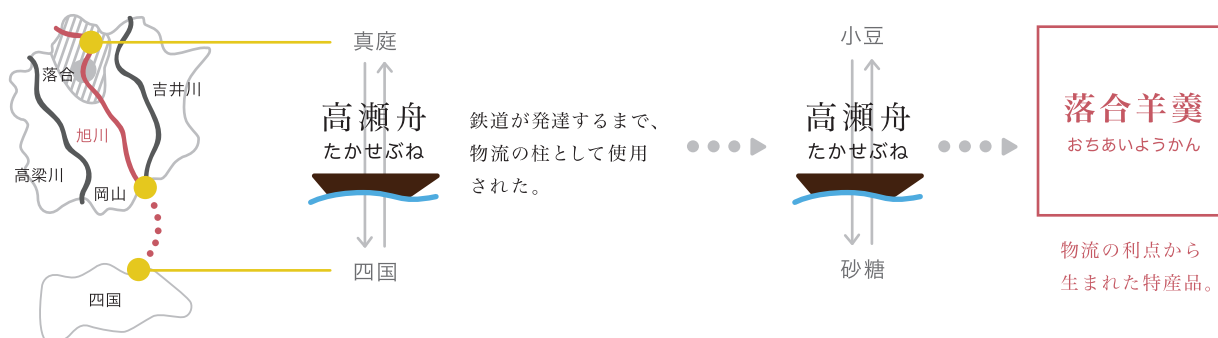
h25×w36×d160mm

湯浅 瑛里子
デザイン情報コース

岡山県真庭市の落合地域に受け継がれ、地域の人々に親しまれている銘菓『落合羊羹』について、ルーツと特徴を見つめ直すことで、リ・デザインを行った。

『落合羊羹』は羊羹を乾燥させることで起こる「糖化」という現象そのものを味わいとして取り組んでいるところと、一口で食べられるというサイズ感に特徴があるが、本研究ではこれらに着目し、食感を軸とした、新しい羊羹のカタチを考えた。

岡山の銘菓として、「落合」という地域と、「羊羹」というイメージが繋がり、伝統の味が引き継がれることを願っている。



東日本大震災を経験した 福島県から発信する 減災グッズの提案

備蓄食セット
h70×w275×d250mm

井関 紅葉
デザイン情報コース

2011年3月11日に東日本を中心に未曾有の被害をもたらした大震災から、6年目を迎える。時間の経過とともに、日常を取り戻すことができている人も多い反面、災害への危機感は失われつつあるように思われる。

私の故郷の福島県も、東日本大震災によって甚大な被害を受けた地域の一つである。この経験を活かし、福島県の特産品を詰め込んだ、美味しく食べられる「備蓄食セット」を作った。「お中元」「お歳暮」という日本ならではの年2回の催事に、「備蓄食セット」を届けることで、東日本大震災の記憶を風化させないことを意図している。



【福島×備蓄食】

福島から発信する 「贈る備蓄食」



こづゆ



アンコウのどぶ汁



山菜ご飯



ニシンの山椒漬け



凍み餅



味噌かんぶら



会津味噌田楽



フキのおひたし



伝統産業について 情報発信するための メディアの制作と その運用方法の提案

—高岡銅器団地を例に—

Webアプリケーション・Adobe Illustrator

伊藤 芽衣

デザイン情報コース

伝統産業を担う職人さんがより効率的に情報発信ができる仕組みを研究したいと考え、富山県高岡市にある高岡銅器団地協同組合の方々にご協力をいただき、WEBサイトを制作した。職人さんが情報発信をするにあたっての課題は主に次の2点であると考えます。

- (1) コンテンツ制作にあたってのノウハウ
- (2) 日々の仕事をこなす中で広報に費やすための時間

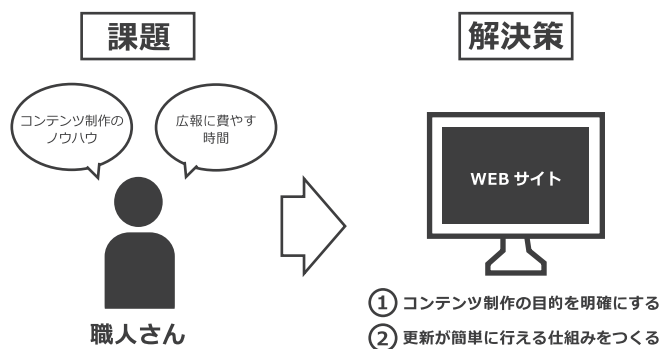
WEBサイトの構築にあたっては、これらの課題に対して次の解決策を盛り込んだ。

- ①コンテンツ制作にあたっての目的を明確にする
- ②更新が簡単に行える仕組みをつくる

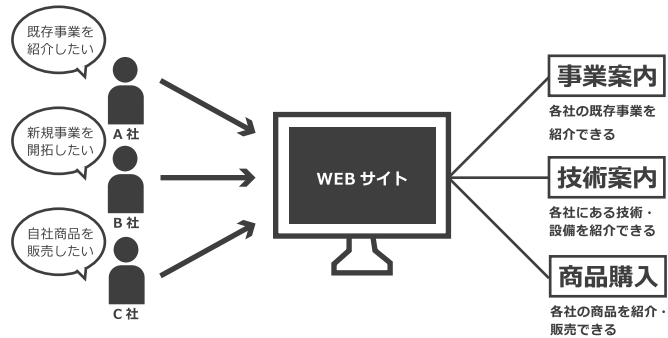
伝統産業に携わる職人さんがより多くの情報を発信できるようになり、伝統産業の魅力がより多くの人に伝わる様なメディアの制作を目標とした。



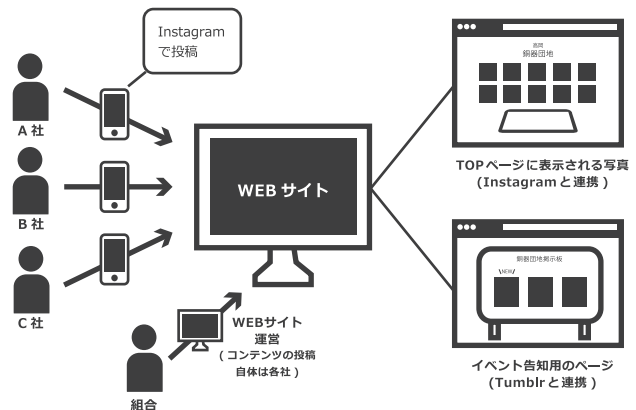
▲WEBサイト TOPページ



① コンテンツ制作の目的を明確にする



② 更新が簡単に行える仕組みをつくる



本棚のある風景

コミュニケーションデザイン

戎井 友里乃

デザイン情報コース

私は本が好きです。もっと多くの人に本を読んでほしいという思いがあります。『本棚のある風景』は、皆さんの本にまつわる記憶を呼び起こすことができるような場面を描いたものです。それぞれの風景に対して本にまつわる物語を考えました。

日々の生活の何気ない風景に、もし本棚があつたら…

あなたはどんな時に本を読みたくなりますか？ふと息をついた時、短い空き時間、悩んでいる時、誰かと距離を縮めたい時…。昔手にとった本を懐かしく思い、当時の記憶を思い起こすことでもう一度読みたくなったり、また新しい本に手を伸ばしたくなるかもしれません。風景の中の本棚には物語に関連する本を選びました。もしかするとそこには皆さんの記憶を呼び起こす本があるかもしれません。本を読みたくなる瞬間は人それぞれではありますが、これらの風景を通して皆さんの本を手にする「きっかけ」になれば嬉しいです。



ベジエ曲線を活用した アニメーション制作

アニメーション
9分

神通 佳奈子
デザイン情報コース

ベジエ曲線には制御点により点・線・図形を自在に操作でき、コピーや拡大縮小を繰り返しても画像が荒れない、という特徴があります。これらの特徴をアニメーションの中の人やモノの動きに活用することでベジエ曲線特有の表現の面白さを追求しました。

本作の特徴として、1本のアニメーションをカメラワークに変化をつけることで、主人公が入れ替わり、3つの物語が展開していきます。よく観察していただくと、伏線のようにそれぞれのつながりが見えてきます。

(ベクターマンvsカイゾードリ / 密着 ベジェーズ24時 / べくたあ白書)

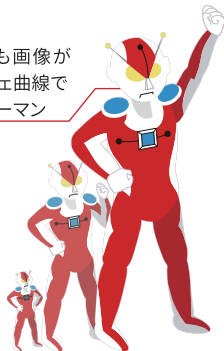


ベジエ曲線で出来た街はどこまでも拡大が可能です



ラブラブな二人もばっちり見えます

大きくなっても画像が
荒れないベジエ曲線で
出来たベクターマン



大きくなると画像が
荒れるピクセルで
出来たカイゾードリ



パラグライダーの 楽しさを伝える コミュニケーションデザイン

コミュニケーションデザイン
h2478×w297mm

千田 明由
デザイン情報コース

幼い頃から私にとって一番身近なスポーツだったパラグライダー。

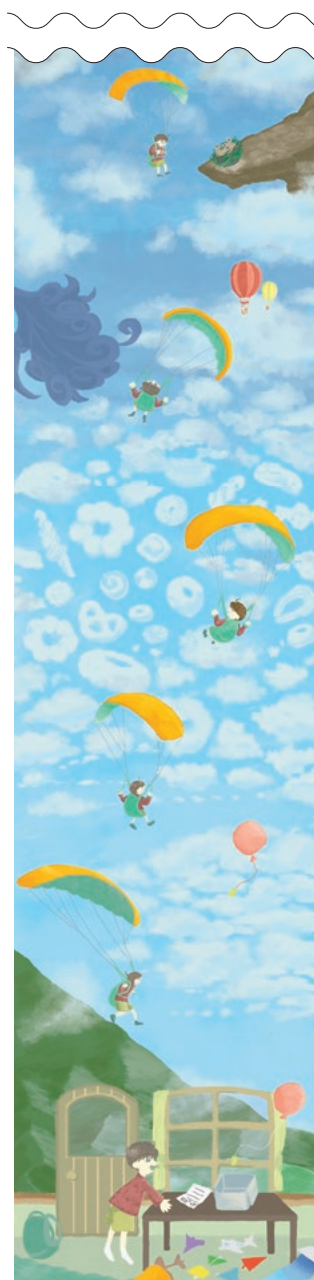
その頃はみんな空を飛ぶものだと思っていました。

しかし、実際には十分に知られていないスポーツであることを知り、パラグライダーの存在、自分自身で空を飛ぶという経験から生まれる価値を伝え、関心を持ってもらいたいと考えました。

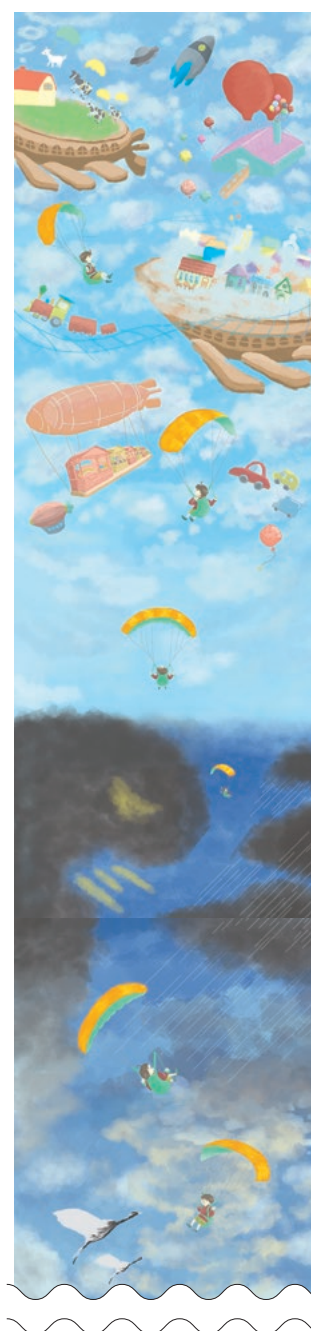
そこで、子どもや親の心にパラグライダーの楽しさや魅力がじんわりと浸透するようなコミュニケーションツールとして絵本を制作しました。



展開図



絵本「そらとぶぼうけん」



地域の特色を表現するデザイン

コミュニケーションデザイン

長沢 佳奈

デザイン情報コース

Geibun Prize 2018 受賞

都道府県にはそれぞれ特色があり、歴史的背景やその地をとりまく環境が大きく影響していると言われています。そして、各都道府県を特徴づけることができる傾向や考え方、文化や価値観の差異などを表すことができるものを「県民性」と呼んでいます。本作品では「県民性」の中でも「恋愛傾向」に着目し、「恋愛指南薬」を制作することで「県民性」の見える化を目指しました。

好きな人がどんな考えを持っていたり、どんな傾向にあるのかはつい気になってしまうもの。恋も病の1つ…という発想から、女の子に対する出身県別の「恋愛指南薬」を作品として作り上げました。相手にどんな「県民性」があるのか、自分にどんな「県民性」があるのか…。この薬を眺めてくすつと笑ってもらったり、2人の距離が近づいたりしたらいいと思います。



<p>16</p> <p>富山</p>	<p>◆富山では薬売りとしての誠実な心構えが残っています。朝早くから日が落ちるまで一軒一軒訪問し、丁寧に会話をし信頼関係を築いてきたという薬売りの性質の影響なのか、富山の人は真面目で現実主義な人が多いです。</p> <p>♥ロマンチックなことをしようと下手にかっこつけると逆効果になってしまうかもしれません。あまりイキらない方が吉です。</p>
<p>17</p> <p>石川</p>	<p>◆石川の人は面倒が嫌いなのんびりやさん。「加賀のタヌキ寝入り」という言葉もあり、加賀百万石の祖である前田利家が取った行動が由来。幕府への反逆の意志がないことを示すために、百万石の財を美術品や工芸品の購入にあて、文化奨励策をとったのだそう。その結果幕府との衝突(=面倒)を避けられたといえます。</p> <p>♥そんな面倒が嫌いな石川の女の子とは、のんびりとした付き合いをするのがよいでしょう。</p>
<p>18</p> <p>福井</p>	<p>◆福井の人の県民性を表す言葉に、「死ぬくらいなら詐欺をしても生き延びる」というものがあります。賢く頭が回るので、頭を使って稼ぐことに優れています。その頭の良さは急成長企業全国1位という結果にも表れています。</p> <p>♥恋愛でもその頭の良さを生かしてカケヒキ上手な人が多いようです。騙されないように慎重にいきましょう。</p>

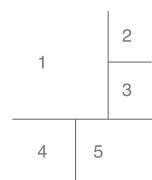
*実在の商品等とは一切関係ありません。

コミュニケーションを生むスタンプ
 ー「高岡クラフト市場街」における
 「職人・町人スタンプラリー」の提案ー
 コミュニケーションデザイン

河原 つかさ
 デザイン情報コース

Geibun Prize 2018 受賞

「職人・町人スタンプラリー」とは、「高岡クラフト市場街」の期間中に実施するスタンプラリー企画です。実施期間中は、普段工場にいる職人さんや、お店の経営者などと、まちなかで出会うことができます。スタンプラリー参加者は、スタンプを持った職人・町人さんをまちなかで探し出し、声をかけるとスタンプを押してもらえます。このスタンプを押してもらうというやりとりをきっかけとして、普段はなかなか接点の無い職人・町人さんと、コミュニケーションを図ることができます。県外から来たお客さんでも、高岡で生活する人々のコミュニティに参加することができるでしょう。高岡のまちやひとが、高岡の魅力でもあることから、コミュニケーションを誘発するスタンプラリーを企画、実施しました。また、実施においては、こどもにも人気であったことから、スタンプラリーと連動したこども向けのwebサイトを制作しました。職人という職業を紹介する内容を追加し、こどもたちに知ってもらうことで、伝統産業の継続に繋げることができるように思います。



1_ 制作物一覧。2_ スタンプを押したパスポート。3_ 職人さんがお客さんにスタンプを押す様子。4_ 大人向けwebサイト。5_ こども向けwebサイト。

自然の美しさを学ぶ 子供用教具

マグネットシート・スチールペーパー
ラベルシール・厚紙
h18×w190×d277mm

兒玉 由香

Kodama, Yuka

デザイン情報コース

人にとって、幼少期はさまざまな感性が育まれる大切な時期である。そんな幼少期の子供たちにもっと自然の美しさに触れて欲しいという願いを込めて制作した。

題材は、自然界に存在するたくさんの動物や植物や環境。その美しい形や色、模様や法則をテーマに、遊び終わったあとに子供が自然物の中から何かを学び取り、気づきを得られるような教具にしようと考えた。

マグネット絵本という形態にすることで、子供が自分でマグネットを動かして・貼って・考えながら遊べることに加え、親子で一緒に本を読み進めながらコミュニケーションをとり、親が子供の成長を見守れるということを狙いとしている。

この教具を通して、身の回りに自然環境の少ない子供達も、自然やその美しさに興味を持ち、関わりを持ちたいと思うきっかけになればと考えた。



口紅の歴史をふまえた 新しいリップメイクアップの提案

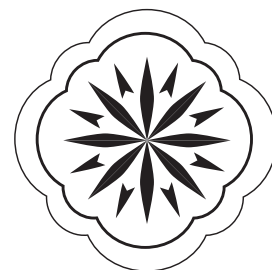
木・コルク・布・陶器・褐色瓶
h130×w195×d195mm

小澤 マリナ
Ozawa, Marina
デザイン情報コース

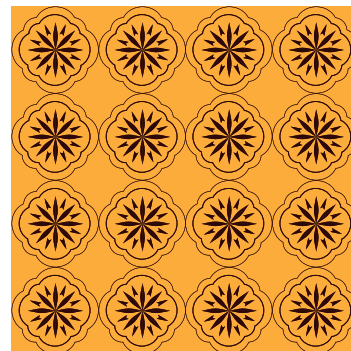
江戸時代に主流であった日本の口紅は、お猪口に塗られた紅を紅筆を用いてすくい、唇に塗るというスタイルであったが、後に海外から輸入され、現在も使われている口紅はリップスティック状であり、直に塗るスタイルとなった。

紅屋に足を運び、自分のお猪口に紅を塗ってもらい、紅筆を用いて時間をかけて紅を丁寧に塗るという習慣が無くなった現代に、もう一度口紅に対する時間の使い方を見直してもらいたい。そして、江戸時代の人々に習い、紅筆をたくさん使ってもらいたい。そんな思いで、この「BENI」をデザインした。

紅筆を用いながら口紅を自分で一から作ることによって、口紅に対する思いを深めていって欲しい。



BENI



布デザイン

中村海産における コミュニケーションデザインの実践

久保田 光明
Kubota, Mitsuaki
デザイン情報コース

地域活性化において、その地域の既存価値に目を向けることは重要である。その価値の一つと成り得る地域企業との良質なコミュニケーションを研究したいと考えた。

具体的には、富山県氷見市のみりん干し専門店「中村海産」のご協力のもと、企業のブランド価値を高める物事の考察・提案・トライアル・フィードバックを通じたコミュニケーションデザインを実践した。

企業のアピールしたい点だけでなく企業自身が気づいていない価値を引き出すためのコミュニケーションツールの製作や、リサーチに基づく提案やディスカッションを重ねた。結果、中村海産の行う写真撮影可能な工場見学に着目、工場の壁面などにグラフィックを施すことで、見学者の自発的な撮影が SNS を通じて広報につながるしくみを構築、企業内外へ向けたエンゲージメントを高めるツールとしての、新しい工場見学をデザインすることができた。



▲中村海産本社



▲新しい工場見学のシンボル



▲工場グラフィック施工例

▼ディスカッション風景



▼工場グラフィック一部



指輪の意味を伝える コミュニケーションデザイン

小泉 由羽
Koizumi, Yuu
デザイン情報コース

左手の薬指にはめる指輪には結婚と婚約の意味が有り、この事は多くの人に知られているが、左手の薬指以外にも、指によってそれぞれ意味が有る事は知られていない。多くの女性がアクセサリーとして指輪を購入し、楽しんでいるが購入のきっかけのほとんどが好みのデザインを見つけた時であり、意味をふまえて購入する人は少ないというのが現状である。

そこで指輪の意味を可視化し、指輪の意味を伝えるコミュニケーションデザインを提案したい。その手段として、指輪の意味を7枚のポスターとして表現するとともに、ポスターを中心としたウィンドウディスプレイのデザインを行った。ウィンドウディスプレイは店のコンセプトや特色を表す顔であり、街行く人とショップとの最初のコミュニケーションとなる。またショップ内に入り売り場に行かなくても街で目に入るため、たくさんの人の興味を引く事ができる。デザインをパッケージやリーフレットにも応用することで指輪の楽しみ方を広げてもらいたい。



▲ ポスター (一例)



▲ ウィンドウディスプレイ イメージ



▲ 指輪の意味を記したタグ

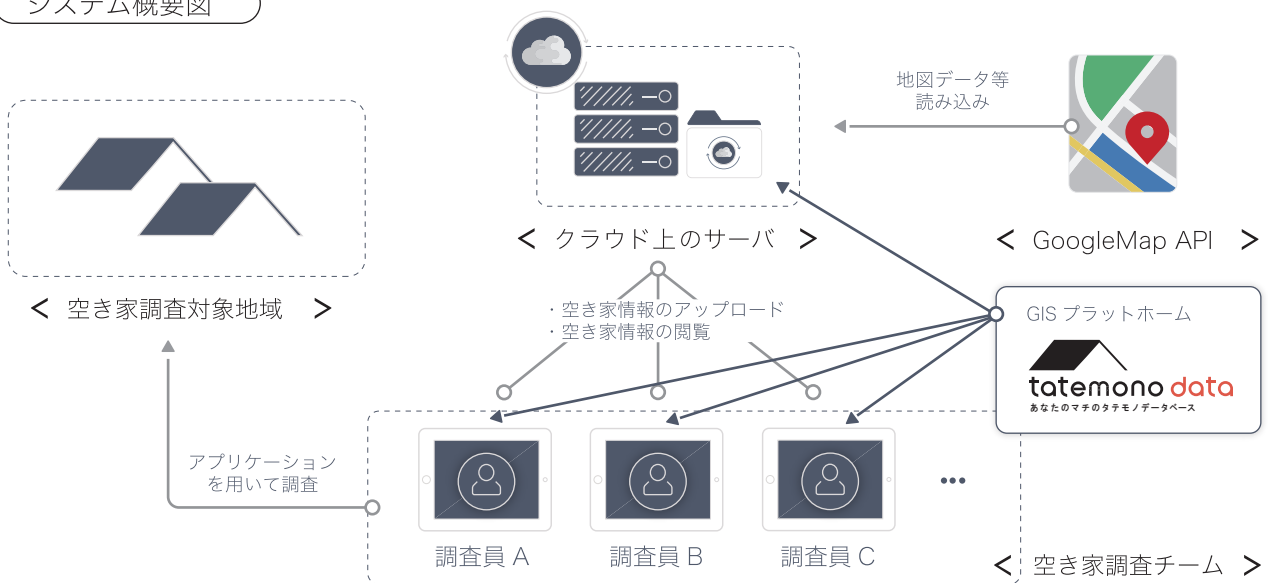


地方自治体が空き家情報を集約、俯瞰できるGISプラットフォームの提案

牧野 和輝
Makino, Kazuki
デザイン情報コース

日本には約 820 万戸（総務省統計局によると）もの空き家が存在し、大変深刻な問題になっている。その中でどのように空き家を有効活用するのが問われているが、有効活用する前の問題として、どこにどのような空き家が存在するのか、またどのように空き家として認定を行うのかという問題がある。そこで私は地方自治体が空き家調査を円滑に進め、集めたデータを地図情報上で管理することで視覚的に空き家情報を管理できる iPad 用アプリケーションを提案したいと考えている。クラウド上のプロジェクトに空き家情報を位置情報と共に iPad からアップロードすることにより複数人で地図を編集し、閲覧することができる。（システム概要図）また、現地調査を円滑に進めるための操作を工夫するとともに、アプリケーション内に時間という概念を取り入れることで空き家調査を時間という軸で管理できる機能や、時間の流れによって変化する要素を地図上で視覚的に閲覧できる機能を、新しい価値として盛り込んだ。（図1、図2、図3）

システム概要図



インターフェイス



(図1)



(図2)



(図3)

超高解像度 パブリックディスプレイ向け インターフェースの提案

石塚 遥
Ishizuka, Haruka
デザイン情報コース

テレビのトレンドとして、超高解像度の4Kや8Kの表示が可能となりつつある。従来の2K(フルHD)と比べ4倍、16倍の解像度になり、今までよりも高精細な表現が可能になっている。(図1)また、テレビにもOSの機能が搭載され、インターネットと連動できるようになりつつある。将来的に、パブリックディスプレイにおいても同様の進化がなされると考え、そのインターフェースを提案する。具体的な提案においては、4Kや8K放送が開始されると思われる2020年の東京オリンピックを題材にした。オープンデータ化されたオリンピック関連情報などをディスプレイに表示させるため画面の左右にスペースを設け、選手情報、会場情報、交通情報、気象情報の高精細表現を試みた。(図3)

